

## 図書紹介

◎サバの森林害虫 (Chey Vun Khen : Forest Pest Insects in Sabah. 1996, Sabah Forest Department 111 pp.)

本書はサバ州(東マレーシア)の主な造林木害虫を1種づつ図示解説した、マレーシア初の林業害虫図鑑である。著者 Chey Vun Khen 博士はサバ州立の森林研究センターの昆虫研究室長で、ちょっとユニークな前書きから、読者は彼の経歴とフランクな人柄を知ることができる。

本文は4部構成で、Part 1 Termites (シロアリ6種を解説)、Part 2 Stem borers (shoot borerを含む;ガ4種、カミキリ9種)、Part 3 Ambrosia beetles (ククイムシ5種、ナガククイムシ科3種)、Part 4 Defoliators (ガ24種、チョウ1種、ゾウムシ1種、バッタ目2種)に分けて55種を解説している。全種に成虫の写真が付され、幼虫や被害部の写真も多い。写真は全てカラーで合計111葉、ほかに線画として林業上重要な地点を示したサバ州の地図とカミキリの1種の幼虫および食痕の図がある。著者自ら述べているように、本書は完璧を目指したのではなく主要な害虫種を取り上げることを主眼としている。アルビジアの *Xystrocera festiva*、ティークの *Endoclita aroura*、*Xyleutes ceramica*、マホガニーの *Hypsipyla robusta* 等、重要害虫は漏らさず収められているが、食葉性が類のマイナーな害虫もかなり採録されている。ガ類はミノガの1種以外全て図示されているので用途が多いだろう。

東南アジアの森林昆虫研究者の間では植民地時代の古い学名を今だに踏襲していたり、近縁種との混同が正されていなかったりすることがままある。本書では *Paliga demastesalis* (= *Pionea demastesalis*)、*Acalolepta cervina* (= *Dihamus cervinus*)、*Endoclita aroura* (*E. gmelina* や *E. hosei* と混同されてきた) 等に最新の学名を当て、同定の混乱も整理している。ただ残念ながら *Eurema hecabe* の項では従来通り *E. blanda* との混同がある。アルビジア造林地に *E. hecabe* が大発生し、その幼虫は集合性であるとしているが、これらは *E. blanda* に当てはまる。写真の幼虫も *E. blanda* である。

ともあれ本書はサバ州のみならず東南アジアの林業害虫を対象とする研究者には必携の1冊であろう。現場の林業関係者にも大いに役立つはずである。購入に関する問い合わせ先は次の通り。The Librarian, Forest Research Centre, P.O. Box 1407, Sepilok, 90715 Sandakan, Sabah, Malaysia, Fax. +60-089-531068 (松本和馬)